

【用語説明】

アルファベット順

ACLS (Advanced Cardiac Life Support)	2次救命処置
ACP (Advance Care Planning)	将来起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者や患者と家族とともに、患者の医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うプロセスのこと。厚生労働省による愛称は「人生会議」
Ai (Autopsy imaging)	遺体にCTやMRIなどの画像診断機器を用いた死因究明システム
AST (Antimicrobial Stewardship Team)	感染症の治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の適正使用に向けて支援するチームのこと
BLS (Basic Life Support)	1次救命処置
CAPS (ChildAbuse Prevention System)	院内の児童虐待に対応する複数の部門が、各々の視点から、児童虐待かどうか、通告等を行うかどうかなどについて合議の上判断し、病院としての通告や警察への連絡などを行う組織のこと
CD (Clostridium difficile)	クロストリジウム・ディフィシル (Clostridium difficile) による抗菌薬関連腸炎のこと
CRC (ClinicalResearch Coordinator)	医療機関において、治験責任医師・治験分担医師の指示のもと、治験の進行をサポートする職業のこと
DI担当薬剤師 (Drug Information)	医薬品情報における管理・収集・提供などを担う薬剤師のこと
DPC (Diagnosis Procedure Combination)	診断群分類別評価のこと。従来の診療行為ごとに料金を計算する「出来高払い」診療報酬請求方式とは異なり、入院患者の医療資源を最も投入した病気とその症状・治療行為を基に厚生労働省が定めた1日当たりの金額からなる包括評価部分（投薬、注射、処置、入院料等）と出来高評価部分（手術、麻酔、リハビリ、指導料等）を組み合わせて計算する請求方式のこと

DMAT (Disaster Medical Assistance Team)	大規模災害や事故などの現場で急性期（おおむね48時間以内）に活動できる機動性を持ったチームで、専門的な訓練を受けた医師、看護師、業務調整員（医師、看護師以外の医療職及び事務職員）などで構成される。
DWH (Data Ware House)	意思決定のために、基幹系などの複数システムから、必要なデータを収集し、目的別に再構成して時系列に蓄積した統合データベースで、データ分析や意思決定に役立てること
ER (Emergency Room)	基本的に全ての救急患者に対応する救急初期診療型で、全ての科の初期診療を行うこと
HIV (Human Immunodeficiency Virus)	人の免疫細胞に感染してこれを破壊し、最終的に後天性免疫不全症候群（AIDS）を発症させるウイルス
ICT (Infection Control Team)	感染対策チーム
IMRT (Intensity Modulated Radiation Therapy)	専用のコンピュータを使い、照射野の形状を変化させたビームを複数用いて、腫瘍の形に適した放射線治療を行う新しい照射方法。腫瘍に放射線を集中し、周囲の正常組織への照射を減らすことができるため、副作用を増加させることなく、より強い放射線を腫瘍に照射することが可能になる。
IVR (Interventional Radiology)	エックス線透視や超音波像、CTなど画像診断装置を使用しながら体内に細い管（カテーテルや針）を入れて病気を治す治療法のこと
JCEP (Japan Council for Evaluation of Postgraduate)	国民に対する医療の質の改善と向上をめざすため、臨床研修病院における研修プログラムの評価や人材育成等を行い、公益の増進に寄与することを目的として2007年に設立された機構のこと
M&Mカンファレンス (Morbidity&Mortality)	診療の質および安全性を改善する目的で、不幸にして合併症が起きたケース、死亡したケースを多職種で振り返る教訓的症例検討会のこと
MRI (Magnetic Resonance Imaging)	人体に電磁波をあてて断層撮影をする方法
NHA (Nihon Hospital Alliance)	日本ホスピタルアライアンス。医療機関の経営基盤強化のため、米国型共同購入モデルを範とした病院による病院のための共同購入を構築し、設立母体の異なる幅広い医療機関の参加を得て、経済効果の高い共同購入を推進している。

OGCS (Obstetric&Gynecologic Cooperative System)	産科救急・母体搬送を円滑に行うための連絡調整システム。搬送の必要性が出た場合、依頼施設はコーディネータに連絡し、このコーディネータが受入病院を探す仕組みとなっている。
PCI (Percutaneous Coronary Intervention)	冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療のこと
PDCAサイクル (Plan Do Check Action)	Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善させること
PIR (Patient Information R econciliation)	複数のシステムにおいて患者情報の一括更新を可能とするために必要な仕組みを取り纏めた、機能連携型の統合プロフィールのこと
QOL (Quality Of Life)	一人ひとりの人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指し、ある人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということをもとに尺度としてとらえる概念のこと
SSIサーベイランス (Surgical site infectio n)	手術を行った部位に発生する感染症のこと
SU (Stroke Unit)	多職種からなる専属の脳卒中チームが配属され、他疾患と明確に分離された脳卒中患者専用の病棟
t-PA治療 (tissue-Plasminogen Ac tivistator)	血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと

あいうえお順

アウトブレイク	感染症について、一定期間内に、ある限られた範囲内あるいは集団の中で、感染者が予想よりも多く発生すること
アクシデント	医療事故のこと。医療に関わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故で、医療従事者の過誤、過失の有無を問わない。死亡、生命の危険、病状の悪化等の身体的被害及び苦痛、不安等の精神的被害が生じた場合、患者が廊下で転倒するなど、医療行為とは直接関係しない場合、患者だけでなく、注射針の誤刺のように、医療従事者に被害が生じた場合を含む。
医療広告ガイドライン	医療若しくは歯科医療に関する広告の規制範囲を周知し、医療機関に対し、広告適正化のための指導を行う目的で定められた厚生労働省の指針

医療リンパドレナージセラピスト	医師の診断および指示に基づき、患者さんやご家族への生活指導、リンパ浮腫保存的治療法である「複合的理学療法 (Complex Physical Therapy)」により、治療を行う施術者のこと
インシデント	医療事故に至る前に気付いたこと。患者に障害の発生しなかった事例のみならず障害の発生した事例、過失の見られるものや不可抗力、また結果だけでなくプロセスの問題も含まれる。
院内助産	緊急時の対応ができる病院で、分娩を目的に入院する産婦や産後の母子に対して、助産師が中心となり分娩介助やケアをするシステムのこと
インフォームドコンセント	治療や臨床試験・治験の内容についてよく説明を受け十分理解した上で、対象者が自らの自由意志に基づいて医療従事者と方針において合意することである。
開放型病床	診療所から紹介された入院患者を、病院の医師と診療所の医師と一緒に診察を行うことのできる病床のこと
カットオフ値	全医薬品中の後発医薬品が存在する薬剤の割合
ガバナンス	統治のあらゆるプロセスのこと
カンファレンス	医師、看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師及び医療ソーシャルワーカーなどの専門職が、分野の枠組みなどを乗り越え、チームで一人の患者に対してベストな支援方法を話し合い、検討すること
緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面する患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、哲学的なところや精神、霊魂、魂）な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげたりすることで、QOL（人生の質、生活の質）を改善する行為のこと
がんセンター	手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師や、その他の専門医師及び医療スタッフ等が参集し、がん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスのこと
救急搬送システム	救急隊と医療機関それぞれが患者情報と受入可能情報をリアルタイムに共有し、救急患者をいち早く、最適な医療機関へ搬送できることを目指したシステム
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした「教育」の拠点のこと
救命救急センター	救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者に対し高度な医療技

	術を提供する救急医療機関のこと
クリニカルインディケータ (QI)	病院の様々な機能を適切な指標を用いて表したものであり、これを分析し、改善することにより医療サービスの質の向上を図ることを目的とするもの
クリニカルパス	医師、看護師、その他医療スタッフが、共同して実践する治療、検査、看護、処置、指導などの標準的な治療行動計画の流れを示すもの
後発医薬品	新薬の独占的販売期間（有効性、安全性を検証する再審査期間及び特許期間）が終了した後に発売され、新薬と同じ有効成分で効能、効果、用法、用量が同一であり、新薬に比べて低価格な医薬品のこと。ジェネリックという。
国際展開推進事業	国際的な課題、我が国の医療政策や社会保障制度等に見識を有する者、我が国の医療従事者や医療関連産業の技術者等を関係国へ派遣すること及び諸外国から医療従事者や保健・医療関係者等を受け入れること
個別化治療	患者の体質や病気の特徴にあった治療を行うこと
災害拠点病院	大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに1カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。
堺市こども急病診療センター	堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設
サルコペニア	加齢に伴って生じる骨格筋量と骨格筋力の低下のこと
三次コーディネート	「まもってネット」を使ってもなお搬送先が決まらない場合に、本来は救命救急センターへの搬送適応ではないが、協力する複数の救命救急センターが緊急避難的に受け入れるか、搬送先調整を行うもの
産褥うつ	分娩後の数週間、ときに数カ月後まで続く極度の悲しみや、それに伴う心理的障害が起きている状態
褥婦	妊娠・分娩によってもたらされた母体の諸変化が、分娩の終了から非妊正常状態に復元するまでの、6～8週間の期間を産褥または産褥期といい、産褥にある婦人のこと
シャドーイング	新人研修医が先輩研修医とともに行動し、日常診療等の仕事ぶりを見学し、吸収すること。また、行動をともにすることで先輩研修医も指導者として経験を積み相互に成長し合うこと
集学的治療	がんに対し、より高い治療効果を得るため、外科療法（手術）、化学療法（抗がん剤）、放射線療法、免疫療法等から二つ以上の治療方法を組み合わせて行う治療のこと
周産期医療	妊娠満22週から出生児満7日未満までを「周産期」といい、この時期は

	母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから特に「周産期医療」という。
重度外傷応需率	救急搬送受け入れ依頼のあった三次救急外傷患者のうち応需した割合
重度疾病応需率	救急搬送受け入れ依頼のあった内因性疾患の三次救急患者のうち応需した割合
精神科身体合併症患者	身体疾患を持ちながら興奮や疎通不良などの精神症状のため一般診療科では対応困難な患者
精神科リエゾンチーム	一般病棟におけるせん妄や抑うつといった精神科医療のニーズの高まりを踏まえ、一般病棟に入院する患者の精神状態を把握し、精神科専門医療が必要な患者を早期に発見し、可能な限り早期に精神科専門医療を提供することにより、症状の緩和や早期退院を推進することを目的として、精神科医、専門性の高い看護師、薬剤師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理技術者等多職種からなるチーム
専門看護師、認定看護師	専門看護師は、日本看護協会の専門看護師認定審査に合格し、特定の専門分野において、卓越した看護実践能力を有すると認められた看護師のこと。認定看護師は、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有すると認められた看護師のこと
第一種、第二種感染症指定医療機関	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた、一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院のこと
タスク・シフティング	医行為の一部を他職種への委譲すること
タスクフォース	特定の課題を達成するために一時的に設置される組織のこと
ダビンチ	手術支援ロボットの機器の名称。内視鏡カメラとアームを患部に挿入し、執刀する医師はロボット操作の台であるコンソールから、3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きがロボットに伝わり、手術器具が連動して患者に触れることなく手術を行う。
地域完結型医療	地域の中で、それぞれの病院や診療所・クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担し、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持ち、切れ目の無い医療を提供していこうというもの
地域がん診療連携拠点病院	専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院

地域連携パス	ある疾患に罹患した患者を中心として、地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、お互いに情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者を支えてゆくための仕組み
治験	治療試験の略。新薬の効果を確かめたり、既存の薬剤の効果と副作用の追跡調査するため、患者や健康な人に服用してもらい試す臨床試験のうち、特に製薬会社で開発中の医薬品や医療機器を患者や健康な人に使用してもらい、データを収集して有効性、副作用や安全性を確認する試験をいう、治験は国の基準を満たした医療機関で行われる。
チーム医療	医療技術の進歩と高度医療の普及、患者中心の医療に対するニーズの高まりなどを背景に、医師個人の能力に依存した医療から、医師、薬剤師、看護師などの各医療職の協力によるチームで行う医療のこと
低侵襲手術	手術・検査などに伴う痛み、発熱・出血などをできるだけ少なくする医療。例えば内視鏡やカテーテルなど、身体に対する侵襲度が低い医療機器を用いた診断・治療のこと。患者の負担が少なく、回復も早くなる。
ドクターカー	種々の薬剤や器具を装備し、医師及び看護師が同乗して患者を搬送できる救急車のこと。病院到着までに医師による適切な処置及び医療を行うことができ、救命率の向上が期待できる。
トリアージ	大事故・災害などで同時に多数の患者が出た時に、手当ての緊急度に従って優先順をつけること
ハートコール	急性心筋梗塞、狭心症、急性心不全等の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと
パンデミック	広範囲に及ぶ流行病
病院機能評価	医療の質と安全の向上を目的として、一定の基準に基づき、中立の立場から医療施設を評価したもの
病床機能報告	地域医療構想の策定にあたり、地域の医療機関が担っている医療機能の現状把握、分析を行う必要性があったことから、平成26年度から開始された制度
プレアボイド	薬剤による有害事象を事前に回避すること
フレイル	健常から要介護へ移行する中間の段階のこと
ブレインコール／ブレインオンコール	脳卒中の救急疾患に対応するため、救急車からの電話に担当医が直接対応するシステムのこと。また、急変時にいつでも対応できるように待機していること
ペースメーカーモニタリングシステム	患者に植え込まれているデバイスの情報や心臓の状態を、電話回線を通じて専用のデータベースに送り、担当医師がデータの確認をすることで、早期治療に役立てることができるシステム
ボトムアップ	現場社員からの提案を基に、意思決定していく経営のこと

ポリファーマシー	薬剤が多いことにより、薬物有害事象につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のこと
マッチング	医師免許を得て臨床研修を受けようとする者（研修希望者）と、臨床研修を行う病院（研修病院）の研修プログラムとを研修希望者及び研修病院の希望を踏まえて、一定の規則（アルゴリズム）に従って、コンピュータにより組み合わせを決定するシステムである。
まもってネット	消防機関が緊急度が高いと判断する患者で、5 件以上の医療機関への照会又は 30 分以上の現場滞在で搬送先が決まらない場合に、消防機関が複数の医療機関に一斉にシステムを活用して緊急受け入れ要請を行い、医療機関が直ちに受け入れの可否を応答することにより、早期に搬送先医療機関を確保できるようにするものである。
メディカルコントロール	傷病者を救急現場から医療機関へ搬送する間に救急救命士が実施する医行為に対して、医師の指示または指導・助言および検証することにより、それらの医行為の質を保証すること
メンター	仕事上（または人生）の指導者、助言者
リンクナース	医療施設のなかで、専門チームや委員会と病棟看護師をつなぐ（リンクさせる）役割を持つ看護師のことである。看護師と他職種をつなぐ（リンクさせる）という役割も持つ。
レジデンピック	「将来の医療を支える研修医の今と未来を応援するイベント」として、研修医が学んできた知識及び臨床力をクイズ形式で競い合う大会
レジナビ	全国の約 850 病院が参加する日本最大規模の合同説明会
ロボット支援手術	内視鏡カメラとアームを患部に挿入し、執刀する医師はロボット操作の台であるコンソールから、3D モニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きがロボットに伝わり、手術器具が連動して患者に触れることなく実施できる手術